

千葉 ・ 山倉水上メガソーラー発電所の台風 15 号被害状況について

先日の台風 15 号による「千葉・山倉水上メガソーラー発電所」における被害状況につき、ご報告申し上げるとともに、近隣の住民の皆さまならびに関係者の皆さまには、多大なご迷惑・ご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

本日現在、判明している内容は下記のとおりです。

記

1. 台風 15 号と発電所の被害について

- ・ 9 月 9 日（月）早朝に台風 15 号が千葉市付近に上陸した際に、遠隔監視システム上で異常警報を受けた電気主任技術者が現場へ急行し状況を確認したところ、台風の影響で本発電所のフロートアイランド（水上に設置した太陽電池パネル群）が複数に分断されていました。
二次災害を防ぐために電気主任技術者が PCS（パワーコンディショニングシステム、発電した直流電力を交流電力へ変換する機器）を直ちに全台数停止しました。
- ・ 同日 13 時頃に火災が確認されたため消防に通報、14 時過ぎより消火活動が開始され、同日 17 時 20 分頃に鎮火しました。
- ・ 現時点で、地上に設置している設備に被害はなく、山倉ダムの外へ太陽電池パネルが飛散している事実も確認されていません。

2. 現在行っている対策について

- ・ 火災発生当日より、太陽電池パネルをつなぐ電気ケーブルを切断する回路遮断作業等、再発火防止の対策を行っています。また、熱センサーを搭載したドローンを飛ばし、異常発熱の有無について定期的に監視を行っています。
- ・ 太陽電池パネルの重なりを防止するために、一部フロートの中に水を入れて安定させる作業を行っています。また、損傷している箇所について、早期に撤去する準備を進めています。

- ・被害状況や現在実施している対策については、周辺の自治会に対して説明を行っているほか、各行政機関に対しても、都度報告しております。
- ・山倉ダムの岸に太陽電池パネルが近接している箇所については、感電の恐れがあるため、「立ち入り禁止」「接触禁止」の立て看板を掲示して、注意喚起を行っています。

3. 今回の原因と今後の対策について

- ・現在、フロートアイランドが分断された原因や火災発生原因などについて各行政機関などにも協力いただき究明を進めています。
- ・現在の作業としては、潜水士による池底のアンカー（フロートを支える支持金具）およびアンカーとフロートをつなぐワイヤーの状態確認、フロートの各部材の破断状況を調査しています。
- ・原因を究明して、今後の抜本的な対策を講じてまいります。

■ 千葉・山倉水上メガソーラー発電所の概要

発電所名	千葉・山倉水上メガソーラー発電所
事業主	京セラ TCL ソーラー合同会社
所在地	千葉県市原市山倉地先「山倉ダム」
敷地面積	約 18 万 m ²
最大発電出力	約 13.7MW
太陽電池パネル出力・枚数	270W × 50,904 枚
運転開始日	2018 年 3 月 5 日

■ 「京セラ TCL ソーラー合同会社」の概要

社名	京セラ TCL ソーラー合同会社
所在地	東京都千代田区
株主	東京センチュリー株式会社（81%） 京セラ株式会社（19%）
設立年月	2012 年 8 月

<本件に関するお問い合わせ先>

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 京セラ株式会社 広報室 ■ 東京センチュリー株式会社 広報 IR 部
(京セラ TCL ソーラー合同会社) | <p>本社：075-604-3514 東京：03-6364-5503</p> <p>代表：03-5209-6710</p> |
|--|---|